

令和4年度 桃陽総合支援学校 後期学校評価アンケート

			教職員	保護者				児童・生徒					病院等関係者				児童・生徒									
確かな 学力	健やかな 身体	豊かな 心		よく出来 ている	大体出 来ている	あまり出 来てい ない	出来て いない	よく出 来ている	大体出 来ている	あまり 出来 てい ない	出来 てい ない	わから ない	そう思 う	大体そ う思 う	あまり思 わない	思わない	よく出 来てい る	大体 出来て いる	あまり 出来て いない	出来て いない	わから ない					
			学習について	① 児童生徒の基礎的な学力の向上を目指した指導を行う。	9.0%	77.0%	14.0%	0.0%	② 子どもが学習内容を理解し、基礎的な学力をつける	13.0%	52.0%	22.0%	4.0%	9.0%	② 勉強はよくわかる	38.0%	31.0%	23.0%	8.0%	③ 導入したICT機器等を有効に活用し、工夫した授業がされている	50.0%	32.0%	0.0%	0.0%	18.0%	
										③ 子どもが話をしっかり聞く	23.0%	55.0%	13.0%	0.0%	9.0%	③ 先生や友だちの話をよく聞いている	31.0%	61.0%	8.0%	0.0%						
				③ 子どもがICT機器を利用できるように指導する	27.0%	64.0%	9.0%	0.0%	⑤ 書籍や新聞タブレットなどを利用して、必要な情報を収集する	17.0%	40.0%	30.0%	4.0%	9.0%	⑤ 本や新聞タブレットを使い、調べたり考えたりしている	54.0%	31.0%	15.0%	0.0%							
				④ 自主学習が習慣づく指導を行う	0.0%	41.0%	54.0%	5.0%	⑥ 子どもが自主学習の習慣を身に付ける	4.0%	27.0%	39.0%	30.0%	0.0%												
				⑪ わかりやすい授業づくりを工夫する（ICTの有効活用を含む）	14.0%	68.0%	18.0%	0.0%	⑫ 学校がわかりやすい授業を工夫する	30.0%	61.0%	4.0%	0.0%	5.0%	⑫ タブレットや電子黒板を使って学習することでよくわかる	54.0%	23.0%	23.0%	0.0%							
															⑬ 先生は私の質問にていねいに答えてくれる	33.0%	51.0%	8.0%	8.0%							
			生活について						① 子どもが楽しく学校に通う	31.0%	55.0%	9.0%	5.0%	0.0%	① 学校生活は楽しい	31.0%	54.0%	15.0%	0.0%	① 児童生徒は楽しく学校生活を送っている	36.0%	57.0%	4.0%	0.0%	3.0%	
				② 子どもが相手を意識して聞いたり話したりできるように指導する	27.0%	59.0%	14.0%	0.0%	④ 子どもが相手に伝わるように話す	13.0%	48.0%	22.0%	4.0%	13.0%	④ 思ったことや考えたことを話している	31.0%	46.0%	15.0%	8.0%							
				⑤ 児童生徒がすすんであいさつできるように指導する	18.0%	50.0%	32.0%	0.0%	⑦ 子どもがあいさつをする	22.0%	52.0%	13.0%	4.0%	9.0%	⑥ 自分からすすんであいさつしている	31.0%	53.0%	8.0%	8.0%	④ 来校したとき児童生徒は挨拶する	18.0%	43.0%	14.0%	7.0%	18.0%	
				⑥ 子どもが場に応じた言葉づかいができるように指導する	14.0%	45.0%	41.0%	0.0%	⑧ 子どもが場に応じた言葉づかいをする	9.0%	35.0%	30.0%	13.0%	13.0%	⑦ その場に応じた言葉づかいをしている	31.0%	46.0%	23.0%	0.0%							
				⑨ 子どもが協力して取り組めるような活動を計画立案する	9.0%	86.0%	0.0%	5.0%	⑩ 子どもたちが協力して学校生活をおくる	30.0%	30.0%	10.0%	4.0%	26.0%	⑨ 相手の人の気持ちを考えて行動している	33.0%	51.0%	8.0%	8.0%							
				⑧ 学校の行事のねらいを明確にし、児童生徒にとって意義のあるものにする	32.0%	64.0%	4.0%	0.0%	⑪ 学校行事が子どもにとって意義のあるものになっている	48.0%	30.0%	4.0%	0.0%	18.0%	⑩ 友だちと一緒に活動すると楽しいTV会議などの活動も含む	46.0%	54.0%	0.0%	0.0%	② 学校行事において児童生徒は生き生きした活動の様子がみられる	39.0%	43.0%	7.0%	0.0%	11.0%	
				⑦ 社会のルールや生活のマナーが守ることができるように指導する	0.0%	75.0%	17.0%	8.0%	⑨ 子どもが社会のルールを守り生活のマナーを身に付ける	13.0%	48.0%	22.0%	0.0%	17.0%	⑧ 学校の決まりや約束を守っている	46.0%	39.0%	15.0%	0.0%	⑤ 児童生徒は社会のルールを守り生活のマナーを身に付けている	11.0%	64.0%	7.0%	4.0%	14.0%	
				⑬ 子どもが自分の健康管理に気を付けられるように指導する	9.0%	73.0%	18.0%	0.0%	⑭ 子どもが自分の体のことを気を付けて活動する	30.0%	57.0%	13.0%	0.0%	0.0%	⑮ 病院の先生や看護師さんの言われたことを守っている	23.0%	54.0%	15.0%	8.0%							
			自己理解・キャリア発達に関	⑩ 子どもの良いところを見つけほめる	27.0%	68.0%	5.0%	0.0%							⑪ 自分には良いところがあると思う	39.0%	23.0%	23.0%	15.0%							
				⑫ 子どもの相談に適切に応じる	28.0%	67.0%	0.0%	5.0%	⑬ 子どもが家族や先生に自分の思いを伝える	26.0%	52.0%	22.0%	0.0%	0.0%	⑭ 私の悩みや困りごとを聞いてくれる人がいる	31.0%	46.0%	23.0%	0.0%	⑥ 教職員に連絡や相談がしやすい	14.0%	64.0%	18.0%	0.0%	4.0%	
				⑭ 児童生徒に関することを主治医と十分話し合い個別の包括支援プランに活かす	10.0%	52.0%	38.0%	0.0%	⑮ 学校が個別の包括支援プランについて、わかりやすく説明する	39.0%	31.0%	4.0%	4.0%	22.0%	⑯ 自分なりの目標をもって生活している	34.0%	50.0%	8.0%	8.0%							
				⑮ 個別の包括支援プランを適切に修正・更新し懇談会やカンファレンスに生かす	5.0%	45.0%	45.0%	5.0%	⑯ 個別の包括支援プランにおいて、子どもに合った短期目標が設定されている	26.0%	39.0%	4.0%	4.0%	27.0%												
			教育環境や地域との連携について																	⑦ 桃陽総合支援学校のホームページを見たことがある	14.0%	22.0%	7.0%	36.0%	21.0%	
				⑮ 教育活動の情報をタイムリーにホームページなどで知らせる	13.0%	56.0%	27.0%	4.0%	⑰ 学校だより、ホームページなどをみると、学校の様子がよくわかる	35.0%	43.0%	0.0%	0.0%	22.0%	⑧ 学校だより、ホームページなどをみると、学校の様子がよくわかる	11.0%	29.0%	14.0%	14.0%	32.0%						
				⑰ 学校経営方針に基づく予算を立案し、効果的な執行をする	0.0%	79.0%	21.0%	0.0%	⑱ 学校が預り金や就学奨励費について十分な説明をする	57.0%	30.0%	4.0%	0.0%	9.0%												
				⑱ 保護者・病院・地域との連携を密にして、より開かれた信頼される学校づくりを推進する	18.0%	68.0%	9.0%	5.0%	⑲ 学校・家庭・病院・地域が連携して子どもたちを育てる	45.0%	45.0%	0.0%	0.0%	10.0%							⑨ 学校・家庭・病院・地域が連携して子どもたちを育てる	14.0%	40.0%	18.0%	7.0%	21.0%
				⑲ 近隣地域との交流を通して社会の一員であることを実感できる活動を実施する	9.0%	27.0%	43.0%	21.0%																		
				⑳ 児童生徒や保護者に係る個人情報の管理に細心の注意を払う	43.0%	47.0%	5.0%	5.0%																		
				㉑ 児童生徒が安全に学校生活をおくることができるように定期的に点検や修繕を行っている。	43.0%	47.0%	10.0%	0.0%																		
				前期と同じく、わかりやすい授業づくり・意義ある行事・健康管理・良いところをほめる・相談に応じる・個人情報の管理や環境整備の項目については「できている・大体できている」と答えた割合が高かった。後期はそれに加えて、基礎学力の向上を目指した指導や子どもたちが協力して取り組める活動について取り組んできたことへの自己評価が高かった。				わかりやすい授業の工夫・楽しく学校に通う・自分の体のことに気を付ける・預り金や就学奨励費の説明などは十分にできていると評価されている。個別の包括プランについては、前期よりも説明や個に応じた目標設定ができていると答えた保護者の割合が増えている。自主学習の習慣は不十分ながらも、できていないと答えた割合は減少している。				学習面や生活面に関する項目では、肯定的な回答を寄せている子どもたちであるが、自分に良いところがある・悩みや困りごとを聞いてくれる人がいるという項目は前期に比べ肯定的にとらえている子どものポイントが減っている。				前期に引き続きICTを有効に使い、楽しく学校生活を送っていることについて評価いただいている。加えて、あいさつ・ルールやマナーの項目、行事での様子等、生活面にかかわる項目で前期よりも肯定的にとらえている方の割合が増えている。										

【全体を通して】

確かな学力の育成:

聞かすに、
語用を
達教の職
友。ツテを病院で活用し、字に
導いてタスレ習ひてきておられ
指つとフの生徒は生感
え上る答へつ連童い草な
ると夫間の見たた前
わカヤをと期待しな
この授こはを参

よくいる約たとに
が利する制つ習ふた
強うやしてのなる外
はるか導い能校
徒々わ指につく行
生たづにかな一行
兄とよ上用とし主際
こある後押り実働

豊かな心の育成:

行事で力を発揮することができたことが、児童生徒の自信につながっている様子がうかがえる。児童生徒会の子供たちから「何かしたい」という思いを発信し企画をすすめていることもうれしい変容である。本校・分教室の児童生徒が、互いに楽しくするためにどうすればよいかを考えあう場として「児童生徒会」の場が機能している。特設の場での気づきを、日常生活での人とのやり取りの場で生かすことができるよう支援していきたい。

健やかな身体の育成:

治療や薬の管理、感染予防など身体面では気を付けている様子がアンケート結果からうかがえる。「入院生活」による不安やストレスフルな状態を、人に話したり文字にする、体力的に可能な児童生徒は体を動かしたりすることでコントロールできることを体得しつつある。一方「退院」が見えてきた際にも、喜びだけでなく不安に思う児童生徒、保護者の姿がある。復学時に丁寧な引継ぎをするだけでなく、復学を視野に入れた「心」を育む学習計画の展開が必要である。

独自の取組:

地域支援として行ってきた高校生支援の取組をガイドブックとしてまとめた。シンポジウムでは入院中の高校生が学ぶ意義とともに紹介し、病弱支援学校ならではの発信ができたものとする。